

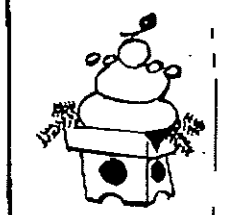


全国商工新聞

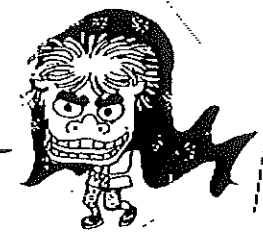
長岡版

発行編集
長岡民主商工会
長岡市中沢167-1
☎ 33-5948

2017年
1月2日
第1842号



安倍政権の悪性ストップ! 商売暮らしを守るため 仲間を増やし強大な民商の建設を



年末年始に関するお知らせ

①事務所のお休み

12月29日(土)～1月4日(水)まで民商事務所はお休みになります。よろしくお願ひします。

②商工新聞次回のお届け

今回は新年2号(1月16日)となり、1月11日以降のお届けになりますので、よろしくお願ひします。

あけましておめでとう
おめでとうございます
会員の皆様におかれましては、新年を迎え心新たにお過ごしのことと存じます。まやかしの経済政策「アベノミクス」で貧富の差が広がり、日本の土台を支えてきた多くの中小零細企業は苦しんでいきます。安倍政権はTPPの批准や年金カットなどの法案成立と、数の力で押し進めようとしています。私たちが自営業者と追いつめ苦しめる政治と、国民生活安定のための政治に交換させるべく年になるよう、会員の皆様とともに頑張っていくましよう。平成30年には全商連総会が新潟で行われます。長岡民商も全国の中仲間と力を合わせて20万会員、商工新聞読者30万人とめざして頑張っていくことを誓って年頭の挨拶といたします。

長岡民主商工会会長 梶澤政晴

二〇一七年一月



「秋の運動」苦労様&春の運動 頑張ろう集会」に参加

12月11日(日)新潟市の万代シルバーホテルで県連主催の「秋の運動」苦労さま&春の運動ががんばろう集会」が開催されました。

第一部の全商連太田会長の講演では、世界情勢からアベノミクス、地方の暮らしにいたるまで、私たちを取り巻く様々な問題につきお話がありました。その中で10月の県知事選については、原発に関心を持つ人の8割が米山さんに投票し、争点を明確にできた事が勝因と分析。与党候補を相手に当初劣勢とみられていた米山さんが原発に不安を抱く多くの連民の支持受け当選し、太田会長の言われる「自ら声をあげることで市民革命が始まる」を体現した形となりました。これは民商会員が自身を取り巻く問題に向けて、どれだけ多くの仲間を増やしていけるかに通じる部分でもあります。今後支部・班で集まりを持ち、私達の声を大きくしていきます。青木県連事務局長からは、秋の運動を振り返り「役員中心、会員主人公の民商」集まって話し合い相談しあう「民商」を再確認。また、仲間を紹介したくなる魅力ある民商に発展させていくため、毎月の三役・常任理事会での情勢論議や、支部・班会の開催を推し進めていくことが提起されたほか、各民商の取り組みや婦人部・青年部の拡大行動も紹介されました。問題を共有できる仲間を一人でも多く増やすために引き続き運動の強化が求められています。第二部の懇親会では、森裕子参院議員が参加。7月の参院選、10月の知事選で野党統一でつかんだ勝利の流れを、来る衆院選に向けて、今後も加速させていく決意が述べられました。



事務局 佐藤武尊